



愛隣会 目黒若葉寮だより

— No.103 2008.7.7 —

東京都目黒区大橋2-19-1
TEL 03-3466-0261
FAX 03-3468-5052

おいしい巻きずし、できたかな？

自立のための土台作り

寮長 小野寺 克彦

かつて子ども達の保護・養育を主な目的としてきた児童養護施設ですが、現在は一人ひとりの自立を支援することが法的にも求められています。自立に最も必要な要素とは、地域や学校、職場の人々、家族、友人等との関係を適切に築くことにあると考えられます。

けれども、近年入所の増加が著しい虐待を受けた子ども達の多くは、この点で少なからず困難を抱えています。親をはじめとする社会から受け入れられる感覚を抱けずきた子ども達は、周囲の人や自分自身を信頼することがなかなかできません。子ども自身による自他への信頼回復が、今日の児童養護施設には欠くことのない課題です。

近年、目黒若葉寮ではグループホームの増設をはじめとする環境改善、各種研修を通じた職員の資質向上によって自立支援の土台作りを目指してきました。同時にその中では、地域や関係機関、支援団体の皆様に支えられていることの大切さを、これまでにも増して感じております。子ども達が目黒若葉寮での生活を糧に巣立っていきける、そうした施設運営を今後も模索して参ります。

「ハンスオン東京」による ボランティア活動

主任 西森 武

月に一度の土曜日の午前中、食堂にはたくさんの子ども達が集まります。アイロンビーズ、紙粘土など色とりどりの工作材料が用意され、子ども達は目を輝かせ、びっくりするような集中力で作品を作っていきます。



今年の三月より開始されたボランティア団体「ハンスオン東京」の風景です。「ハンスオン東京」は日本在留の外国人とその家族、及び日本人の友人によるボランティアサークルで、児童福祉・高齢者福祉の分野で幅広く活動している団体です。若葉寮とは長年お世話になっているEMOSTのサラモンさんのご紹介で始まり、子ども達との関係作りから活動を開始しています。その柱が月に一度の「工作教室」です。同時に幼児さんにも積み木や紙粘土などの遊びを提供して頂いています。作品はどれも夢のある楽しい物。これからはが楽しみです。

